

200.0/hf で吸入させた。

反応器の出口ガスを採取、分析し、燃焼の活性を求めたところ表1の通りであった。

実験例2

日清化学工業シリカ-アルミナ (NH₃-F₂) 担体 (1) 担体200gをとり、0.1gの酸化白金を含む200gの水溶液中で普通に16時間処理させた。次いで実験例1と同様の方法で処理し、0.1gの重金属白安担体シリカ-アルミナ担体と交換した。

上記の担体200gを用いた実験例1と同様の方法にて、燃焼の活性を求めたところ表1の通りであった。

実験例3

住友化学工業アルミナ (NH₃-F₂) 1.5gをとり、0.1gの酸化白金を用い、実験例1と同様の方法で処理し、0.1gの重金属白安担体シリカ-アルミナ担体と交換した。

上記の担体1.5gを用いた反応器に充填し、0.0000h⁻¹とした。2700ppmのNH₃

を含有する空気を反応器の入口より流速150.0/hf で吸入させた。その結果は表1の通りであった。

実験例4

日清化学工業シリカ (NH₃-F₂) 担体200gをとり、0.1gの酸化白金を含む200gの水溶液中で普通に16時間処理させた。次いで実験例1と同様の方法で処理し、0.1gの重金属白安担体シリカ-アルミナ担体と交換した。

実験例5

担体として日清化学工業シリカ-アルミナ (NH₃-F₂) 200gを用いた実験例1と同様の方法にて、燃焼の活性を求めたところ表1の通りであった。

実験例6

エンゲルハルト社の0.1gの重金属ルテニウム担体シリカ-アルミナ担体を用い、実験例1と同様の方法で処理し、燃焼の活性を求めたところ表1の通りであった。

実験例7

実験例1で用いた担体200gをとり、0.07

特開 昭50-53286(4)

実験例	燃焼 / 担体	NH ₃ (入口) (ppm)	反応温度 (°C)	出口ガス組成 (ppm)			NH ₃ 分解率 (%)
				NH ₃	NO _x	H ₂ O	
1	0.1g Pt/0-A ₂ O ₃	3000	210	163	5	400	94.4
			220	34	6	490	98.7
			230	6	8	590	99.3
2	0.1g Pt/0-A ₂ O ₃ (高 A ₂ O ₃)	3000	230	63	15	590	97.4
			240	34	20	730	98.2
3	0.1g Pt/1-A ₂ O ₃	2700	220	149	16	610	93.9
			230	69	33	570	97.0
4	0.1g Pt/8-SiO ₂	3000	230	214	24	560	92.1
			240	70	30	570	94.7
			250	20	41	660	98.0
5	0.1g Pt/10-SiO ₂ -A ₂ O ₃ (高 A ₂ O ₃)	2700	240	156	46	560	93.3
			250	70	70	440	93.3
6	0.1g Ru/1-A ₂ O ₃	2700	184	121	33	40	94.3
			203	17	13	60	94.2
7	0.2g Pt/1-A ₂ O ₃ 0.1g Ru/1-A ₂ O ₃	2700	232	60	18	430	97.1

6 前記以外の代理人は、

3 字刻印

(1) 代理人

住所 住友化学工業株式会社の二丁115番2号 三井物産株式会社

氏名 (印) 住友 昌 彦 川

住所 交 通 省

氏名 (印) 住友 昌 彦 川

住所 交 通 省

氏名 (印) 住友 昌 彦 川

8 字刻印

の酸化白金と0.062gの酸化ルテニウムを含む200gの水溶液中で普通に16時間処理させた。実験例1と同様の方法で、0.1gの重金属白安担体シリカ-アルミナ担体と交換した。

上記の担体を用いた実験例1と同様の方法にて、燃焼の活性を求めたところ表1の通りであった。